

健康と経営考える

鈴木教授（会津医療センター）講演

木曜会



会津経済研究会（木曜会・竹田秀代表幹事）の第三百四回例会は二十一日、会津若松市の会津若松ワシントンホテルで開かれた。福島医大会津医療センター付属研究所教授の鈴木雅雄さんが「プレゼンティズムと東洋医学」と題して講演した。

プレゼンティズムは、職場に出動しているが何らかの健康問題を抱え、生産性が落ち

ている状態を意味する。プレゼンティズムと鍼灸治療の効果などを語った鈴木さん

鈴木さんは最新の研究報告を紹介しながら「仕事に支障をきたす主な健康状態は首の痛み・肩こり、腰痛、精神疾患、頭痛、睡眠障

害の順が多い。特に二十代、三十代が最も生産性が低下しており、企業の経営損失も多額に上っている」として、対策の重要性を指摘した。

その上で、鍼灸治療には鎮痛、炎症、循環改善、自律神経機能調整などの効果があると説明。さらに自分でできる養生法について触れ、「心の健康のためには自分を認め、ほめるといい。社会的・身体的苦痛に苦しむ人に思いやりを持つことも自律神経が調整さ

れ、心が安定する」などと語った。

鈴木さんは神奈川県横須賀市出身。明治鍼灸大鍼灸学部卒。明治国際医療大鍼灸学部臨床鍼灸学教室助教などを経て二〇一二（平成二十四）年、同センター漢方医学講座准教授に就き、昨年十二月から現職。

鈴木さんは神奈川県横須賀市出身。明治鍼灸大鍼灸学部卒。明治国際医療大鍼灸学部臨床鍼灸学教室助教などを経て二〇一二（平成二十四）年、同センター漢方医学講座准教授に就き、昨年十二月から現職。